

別記

第1号様式の1（第5条関係）

令和 年 月 日

鹿児島県教育委員会 殿

奨学のための給付金受給申請書

次の5点を確認の上、□にレ点を付けてください。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、鹿児島県教育委員会の求めに従いその全額を即時返還します。
- 私は鹿児島県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。））の支弁対象ではありません。
- ※ 児童入所施設措置費の支弁対象となる高校生等には、里親委託費を受給している世帯に扶養されている高校生等を含みます。
- 給付金の支給を行うために鹿児島県教育委員会が必要があると認める場合、基準日における世帯の状況について、各市町村及びその他関係機関に確認することを同意します。

令和2年度における奨学のための給付金の受給を申請します。

申請区分	※全学年選択可	※新入生のみ選択可（年2回の申請が必要となります。）	
	<input type="checkbox"/> 年額支給	<input type="checkbox"/> 4月から6月相当額支給	<input type="checkbox"/> 7月から翌年3月相当額支給
申請者住所 (基準日現在)	〒 - -		ふりがな
			申請者氏名 ⑧
連絡先(電話番号)	- -		
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・本人 ・その他（ ）		

【1 対象となる高校生等について】

ふりがな				生年月日	年 月 日 (満 歳)	
氏名						
在学する学校	学校の名称					
	国公立の区分	<input type="checkbox"/> 国立	学校の種類・ 課程・学科	<input type="checkbox"/> 高等学校（ <input type="checkbox"/> 全日制・ <input type="checkbox"/> 定時制・ <input type="checkbox"/> 通信制） <input type="checkbox"/> 中等教育学校（後期課程） <input type="checkbox"/> 高等専門学校（第1～3学年） <input type="checkbox"/> 専修学校、各種学校（ ） <input type="checkbox"/> 高等学校等専攻科		
	※該当するものを選択してください		<input type="checkbox"/> 公立	※該当するものを選択してください		
	学校の所在地	都道府県		市区町村		
学年	第 学年		在学期間	年 月 日 ～ 在学中		
過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	年 月 日	～	年 月 日	学校の種類・課程・学科

【2 保護者等の収入の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

(1) 次の者の課税証明書等（給与収入、扶養親族の記載が省略されていないもの）を提出します。

①	<input type="checkbox"/>	親権者（両親）2名分
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分（親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。） ・離婚、死別等により親権者が1名の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合等

※ 裏面も記入してください

③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人（ ）名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※ 未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

(2) 次の理由により家計急変が生じており、それを証明する書類を提出します。

年収見込み	家計急変前	家計急変後
	円	円
家計急変理由		

※ 家計急変前の年収見込みについては、課税証明書等に記載されている給与収入を記入してください。
 ※ 家計急変後の年収見込みについては、給与明細書等により家計急変後1年間の年収見込みを推計し、記入してください。
 ※ 申請後、年収見込みに変更が生じた（就職した等）場合、直ちに申し出てください。

【3 世帯員の状況について】

世帯員の状況	続柄	氏名	生年月日（年齢） ※年齢は基準日現在の満年齢を記入	職業又は就学状況	申請区分
				年 月 日（満 歳）	
			年 月 日（満 歳）		<input type="checkbox"/> 第1子 <input type="checkbox"/> 第2子以降
			年 月 日（満 歳）		<input type="checkbox"/> 第1子 <input type="checkbox"/> 第2子以降
			年 月 日（満 歳）		<input type="checkbox"/> 第1子 <input type="checkbox"/> 第2子以降
			年 月 日（満 歳）		<input type="checkbox"/> 第1子 <input type="checkbox"/> 第2子以降

※ 申請者及び対象となる高校生等については必ず記入してください。
 ※ 当該世帯に基準日現在、申請者以外の保護者等及び15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる場合は記入してください。
 ※ 「続柄」欄は、対象となる高校生等を基準としてください。（中学生以下の世帯員は記入不要）
 （記入例）父、母、兄、姉、本人、弟、妹、祖父、祖母、叔父（伯父）、叔母（伯母）など
 ※ 「申請区分」欄は、保護者等が扶養している15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の子について、第1子、第2子以降のいずれかにレ点を付けてください。

※下記内容を確認の上、署名押印してください。

私の世帯は、 月 日（基準日）現在、生活保護法第36条の規定による生業扶助を受給していないことを誓約します。

申請者氏名	Ⓜ
-------	---

【4 奨学のための給付金受給状況について】

これまで受給した全ての奨学のための給付金について記入してください。

回数	受給年度	左記の受給時に高校生等が 在学していた高等学校等	備考
1回目	年度		
2回目	年度		
3回目	年度		
4回目	年度		
5回目	年度		

※ 1人の高校生等につき、在学中に通算して3回（定時制課程又は通信制課程の場合は4回、専攻科に通う高校生等は年1回、通算2回（修業年限が1年の場合は1回））を上限として支給します。
 ただし、高等学校等修学支援事業費補助金（学び直しへの支援）の支給対象者については、この回数に加えて1回（定時・通信制は最大で2回まで）支給することができます。
 前倒し支給を行った者については、4月から6月相当額と7月から翌年3月相当額の支給を合わせて1回とします。

【5 支給方法について】

支給方法	<input type="checkbox"/>	口座振込みにより支給してください。 （※ 口座振込申出書（別紙）及び通帳またはキャッシュカードの写しを添付してください。）
	<input type="checkbox"/>	現金により支給してください。 〔※ 鹿児島県立高等学校に在学する高校生等の保護者等であって、別途指定する日時及び場所に受け取りに来られる場合のみ選択してください。〕